



けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。 「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する
情報をお知らせします～



県北地方では、「幸水」「豊水」「王秋」などのナシが栽培され、8月下旬から11月まで出荷されています。今年7月には、全国ナシ研究大会が福島県で開催されます。



福島市内のナシの花

福島県県北農林事務所 新所長あいさつ



芳見茂 県北農林事務所長

4月1日に県北農林事務所長に着任いたしました芳見茂です。

県庁と相双地方を往来していたため、伊達市在住ですが、県北農林事務所勤務は初めてとなります。

改めて、県北地方の農林業を俯瞰しますと、農業では、何と言っても福島市、伊達地方を中心とした果実生産が目を見せます。これに加え、近年はきゅうりの生産が際立って伸びており、須賀川・岩瀬地方を抜いて県内一の産地となっています。さらに福島市の小菊などの花き生産も盛んで、これら園芸作物の産出額は、県内の4割以上

を占めています。

一方で課題もあります。桃の産出額は、震災前の9割弱にとどまっており、風評の根強い影響が続いておりますし、安達地方や川俣町で盛んだった畜産についても、原発事故の影響が未だ尾を引いており、畜産の復興・再生が不可欠です。

林業では、林野率は県平均を下回るものの、県民の森やフォレストパークあだたらなど県民に開かれた森林環境を有しており、第69回全国植樹祭の開催理念である「未来へつなぐ希望の森林づくり」を引き継いでいく条件が整っております。

県北地方は、福島県の農林業を牽引する地域と原発事故の被災地域を併せ持った福島県の縮図であります。県北農林事務所の総力をあげ、明るい光の輝きを増す施策を積極的に推進するとともに、被災地域の営農再開を強力に支援してまいりますので、今後も引き続き、皆様の御理解と御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

平成 31 年県北地方山火事防止パレードを行いました！

平成 31 年 4 月 5 日(金)に県庁本庁舎前において、県北地方山火事防止地区連絡協議会主催による山火事防止パレード出発式を開催し、約 80 名が参加しました。

協議会会長である芳見茂当事務所長の挨拶の後、福島森林管理署、福島市消防本部、福島県北森林組合の広報車が、信夫山・大波・立子山・飯野方面と飯坂・大笹生・土湯・松川方面の 2 コースに分かれてパレードを行い、山火事防止の注意を促しました。

平成 30 年の福島県内の林野火災発生数は 57 件(県消防保安課 速報値)で、特に空気が乾燥する 3 月から 5 月にかけて多発する傾向にあります。

このため、県北地方では、農作業による山林周辺での野焼きや行楽による入林者の多くなる 3 月 1 日から 5 月 10 日までを山火事予防強化月間と定め、全国山火事予防運動統一標語「忘れない 豊かな森と 火の怖さ」の下、山火事防止運動を推進しています。

農作業による野焼きや、山林に入る時には、火の取扱いに十分注意し、山火事を起こさないようにしましょう。

(森林林業部)



協議会会長 芳見当事務所長 あいさつ



山火事防止パレード 出発

農業総合センター長期就農研修(研修科目:果樹)入所式が挙行されました！

平成 31 年 4 月 8 日(月)、農業総合センター果樹研究所において、農業総合センター長期就農研修(研修科目:果樹)研修生入所式が挙行され、研修生 10 名が入所しました。

果樹研究所での長期就農研修は長い歴史があり、県内に多くの果樹経営者を輩出しています。1 年間の研修を通して果樹栽培における最先端技術に触れ、研修生同士で切磋琢磨すること、多くの先輩農家と交流を深めることは、将来の果樹経営者として独り立ちしていく研修生にとって、大きな自信につながるのではないかと思います。

入所式では研修生 10 名がそれぞれ果樹栽培や農業に対する思い、就農や研修にあたっての意気込みを表明しました。

当事務所としましても、継続して研修生の就農や果樹経営に対する支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



10名の研修生が意気込みを表明



研修生と果樹研究所、各研修支援機関の職員

安達管内で2農場がふくしま県GAPを取得しました！

本宮市の御稲プライマル株式会社と大玉村の武田農園が、平成 31 年3月8日付けで、水稻部門においてふくしま県GAP(FGAP)認証を取得されました。

御稲プライマル株式会社は平成 29 年度に、武田農園は平成 30 年度にJGAPの認証を取得しています。その取組に加え、今回はFGAPの追加認証制度を利用し、安達管内では初めてFGAP認証を取得されました。

GAP取得に取組んだことにより、「農作業の安全意識が高まった」、「農薬や肥料等の在庫管理を行うことでコスト削減につながった」と話されており、販売面においては、クレームの減少や販売量の拡大等について効果が見られているとのこと。

当所では、関係機関・団体と連携し、農産物安全や労働安全、農作業の効率化等に向け、引き続きGAP取得を支援してまいります。

(安達農業普及所)



御稲プライマル株式会社 常務取締役 後藤勇次さん



武田農園 武田藤男さん

バラと木の香りにつつまれたひとときを！



福島市佐原にあるあづま総合運動公園内の「あづま香りのバラ園」に、木製の四阿^{あずまや}が完成しました。これは、木景観形成促進事業を活用し、福島県産のスギ材・ヒノキ材で作られたものです。公園利用者へ休憩・眺望の場を提供することを目的としており、ふんだんに使われた木材からぬくもりが感じられます。

香りのバラ園内には、300種、1,500株のバラが植栽されており、毎年6月には「あづま香りのバラ園まつり」が開催されます。まつりや園内散策の途中の休憩場所としてお立ち寄りいただき、木の香りにつつまれてはいかがでしょうか。

(森林林業部)



全景



内部の様子



ベンチと椅子



看板



～「いちごから笑顔」を届けたい！～ 松葉園カフェによこそ！



平成31年4月7日（日）、伊達市霊山町でいちごを生産している株式会社松葉園（代表取締役大橋松太郎氏）が、伊達市梁川町にある「やながわ希望の森公園産業伝承館」にカフェをオープンしました。このカフェは、本紙63号（平成31年2月発行）で御紹介した松葉園本店カフェ（伊達市霊山町山戸田）に続き2店舗目となります。

松葉園はいちごの生産に加え6次産業化にも取り組んでおり、これまでに自社で収穫したいちごを使用した「いちごサイダー」や「いちごサイダーフロート」、さらには、急速凍結したいちごを使ったシルクのような質感のかき氷「フローズンコットン」（商標登録申請中）を開発し、販売しています。

大橋松太郎氏とカフェ部門担当の由貴子氏は、「いちごから笑顔」と名付けた今回のカフェ展開について、「伊達のいちご、松葉園のいちごを多くの方に知ってもらい、お客様の『美味しいね』のひとつと笑顔のために、これからも挑戦をしていきたい。」との意気込みを語っています。

なお、今後、季節限定で伊達市産のブドウや桃を使用した「フローズンコットン」メニューも登場しますので御期待ください。また、松葉園のカフェは2店舗とも水曜日定休、営業時間10時～15時30分（ラストオーダー）の営業となっています。

当所としましても、「伊達地域のいちご」そして生産者の経営発展のために引き続き支援を行ってまいります。

（伊達農業普及所）



フローズンコットン(いちご)



いちごサイダーといちごサイダーフロート



松葉園の大橋松太郎・由貴子夫妻



松葉園本店カフェ・産業伝承館の目印

その山菜、出荷して大丈夫ですか？

県北地方では、下記のとおり出荷制限指示が出されております！！

再度確認のうえ、**出荷制限品目を出荷・販売しないよう**、御協力願います。

平成31年4月4日現在

くさそてつ (ごごみ)	福島市 二本松市 伊達市 桑折町 国見町 川俣町 大玉村
たけのこ	福島市 二本松市 伊達市 本宮市 桑折町 川俣町 大玉村
ふきのとう (野生もののみ)	福島市 伊達市 本宮市 桑折町 国見町 川俣町
ぜんまい	二本松市 川俣町
ぜんまい (野生もののみ)	大玉村
たらのめ (野生もののみ)	福島市 二本松市 伊達市 本宮市 桑折町 川俣町 大玉村
わらび	伊達市 川俣町
わらび (野生もののみ)	福島市 二本松市
こしあぶら	福島市 二本松市 伊達市 本宮市 桑折町 国見町 川俣町 大玉村
ふき (野生もののみ)	桑折町
うわばみそう (みず) (野生もののみ)	国見町

出荷が制限されている品目については、自主検査により「基準値（100Bq/kg）以下」であっても出荷や販売（無人販売所等への陳列含む）は行わないでください。また、飲食店や宿泊施設等での提供や加工用原材料としても使用しないでください。

なお、最新の情報は福島県ホームページなどで確認いただくか、当事務所にお問い合わせください。

◆ふくしま新発売。（農林水産物モニタリング情報）URL

<http://www.new-fukushima.jp/>

◆お問い合わせ先

福島県県北農林事務所 森林林業部林業課

電話 024-521-2632

FAX 024-521-2851

（森林林業部）



けんぼくの直売所紹介 まちの駅 やながわ
「伊達鶏を使ったおにぎりが大人気！」

伊達市梁川町にある「まちの駅やながわ」はこの4月でオープン1周年を迎えました。地元産の新鮮な野菜等の直売所と、お食事処を併設し、地域の方々の憩いの場となっています。

お食事処で販売中の、伊達鶏のもも肉がゴロっと入った「肉ゴロツとおにぎり」は、全国スーパーマーケット協会の「お弁当・お惣菜大賞 2019」おにぎり部門で全国 4,655 件の応募の中、最優秀賞に選ばれました。受賞後は平日で平均 700~800 個、週末では 1,500 個も売れるほどの超人気商品となっています。3月から、第2弾の「ハンバーグゴロツとおにぎり」の販売も始まりました。地域の方々はもちろん、遠くは関東からも買いに来るといっておにぎり。販売はお食事処が営業している午前 11 時から午後 1 時半までですが、営業時間終了前に売り切れてしまうことがありますので時間に余裕をもって行ってください！なお、たくさんお買い上げになりたい方は前日のお昼までなら予約注文が可能です。下記の電話番号までお問い合わせください。

●事業者データ

まちの駅 やながわ

〒960-0741 福島県伊達市梁川町字大町一丁目 60

☎024-573-7235 FAX024-573-7236



まちの駅やながわ 外観



肉ゴロツとおにぎりを使ったお弁当も販売中！



左 ハンバーグゴロツとおにぎり

右 肉ゴロツとおにぎり



お店で1つ1つ手作りしています。

編集・発行 福島県東北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

